

## 選挙に行って政治を変えよう！

### 「大軍拡」と「社会保障削減」に突き進む国政を終わらせ いのちと暮らしを守る「人権としての社会保障」を実現しよう

9月下旬、復興途上の能登半島に追い打ちをかける記録的豪雨が襲い、懸命な捜索活動や復旧活動が行われるさなか、10月1日の衆議院臨時国会の冒頭、石破首相は衆議院を解散し、10月15日公示、10月27日投開票で衆院選を行うと表明しました。

深刻な政治不信を招いた「裏金問題」の真相解明に蓋をし、予算委員会など十分な議論を行わないままの解散総選挙は、裏金問題や統一協会問題などの追求を恐れた解散にほかならず、国民不在の党利党略そのもので、決して許されるものではありません。

岸田自公政権は、安保三文書に基づく敵基地攻撃能力の保有や軍事費2倍化など空前の大軍拡を進め、私たちの暮らしや人権を脅かす悪法を数の力で押し通してきました。年収は4年連続で過去最高にもかかわらず、大企業や富裕層へは優遇税制をすすめ、被災地にはわずかな予備費ですませる一方、大阪万博など大型開発や軍事費に莫大な税金を注ぎ込み、子育て支援を理由に「高齢者世代」と「子育て世代」を分断し医療・介護制度の大改悪と国民負担増を推し進め、任意のマイナンバーカードを事実上強制する保険証廃止にひた走るなど、国民負担増ばかりを求めてきました。石破首相は10月1日の就任後の初会見で岸田自公政権の路線を引き継ぐことを明確に宣言しています。

2012年の安倍政権からの12年間で社会保障予算は自然増分を含め5兆円以上が削減されました。社会保障は消費税率が上がるたびに悪化し、税負担額と社会保障負担額の合計である国民負担率は46.8%の見込みです。異常な物価高と円安が国民生活を直撃し、国民の6割が「生活が苦しい」と回答するなか、4月から多くの自治体で介護保険料や国民健康保険料が引き上げられ、公的年金も実質減額となりました。10月からは食料品など値上げラッシュが追い打ちをかけており、これ以上の医療・社会保障の改悪や国民負担増は絶対に許されません。

憲法25条の生存権が定める社会保障は長年にわたり労働者・国民が血のにじむたたかいで勝ち取った基本的権利です。社会保障は平和と民主主義のもとで成り立つものであり、戦争や軍拡とは決して相いれません。

来たる総選挙は私たちが望む政治を実現する大きなチャンスです。「軍事の拡大ではなく社会保障の拡充を」の声を広げ「大軍拡」と「社会保障削減」に突き進む国政を一刻も早く終わらせましょう。いのちと暮らしを守る「人権としての社会保障」を実現するため、選挙に行って政治を変えましょう。

以上

2024年10月8日 中央社会保障推進協議会 運営委員会

#### 関連資料

- ・石破茂新政権誕生 裏金・戦争国家ノー 総選挙で自民党政治を終わらせよう (10/2 新婦人 談話) <https://www.shinfujin.gr.jp/16905/>
- ・年金削減、介護の危機、医療改悪をくい止め、高齢者の人権と尊厳を守るための緊急提言 (9/26 日本共産党) [https://www.jcp.or.jp/web\\_policy/2024/09/post-988.html](https://www.jcp.or.jp/web_policy/2024/09/post-988.html)

## 「健康保険証の存続」を総選挙の一大争点に押し上げよう 「保険証のこせ」請願・陳情 201 自治体で採択、意見書 203 本へ

12月2日の現行の健康保険証廃止まで2カ月を切るなか、「現行の健康保険証の存続等を求める」請願・陳情は10月3日現在、少なくとも37都道府県内の201自治体で採択され、国に対する意見書は203本となりました(別紙①)9月議会の意見書は少なくとも13本。鳥取県では初めて三朝町で意見書があがり(別紙②)、神奈川県海老名市議会では、昨年9月の「不安払拭を求める」意見書から「両立を求める意見書」へ健康保険証の存続に踏み込む意見書となりました(別紙③)総選挙は10月15日公示、10月27日投開票で行われる見込みです。各地で「健康保険証の存続」を求める声を大きく広げ、総選挙の一大争点に押し上げていきましょう。

### ◆関連情報

・マイナポータルの不具合、一部の機能を除いて復旧…サイトへのアクセス集中が原因か(10/2 読売新聞)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/8bea946fb93de63c5237ec2c0a9ce23157d51bac>

・結局見直さない？石破総理のマイナ保険証をめぐる発言に“ブレ”？大臣は現行の保険証廃止の方針「堅持」初入閣の大臣に就任会見で“洗礼”も【news23】

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/-/1465298>

・石破新内閣、マイナも手のひら返し？ 保険証廃止「日程通りやりたい」新大臣が口々に…(10/2 東京新聞)<https://www.tokyo-np.co.jp/article/357919>

・福岡厚労相、首相から指示 マイナ保険証めぐり「不安に丁寧に対応」(10/2 朝日デジタル)

[https://news.yahoo.co.jp/articles/8a0c7cad9cd69fab1fa8867120fe73f537695d06?source=sns&dv=pc&mid=other&date=20241002&ctg=dom&bt=tw\\_up](https://news.yahoo.co.jp/articles/8a0c7cad9cd69fab1fa8867120fe73f537695d06?source=sns&dv=pc&mid=other&date=20241002&ctg=dom&bt=tw_up)

・平将明デジタル相(57)が“11億円詐取企業”から288万円の献金を受けていた《社長は今年6月に逮捕》(10/1 週刊文春)

[https://bunshun.jp/articles/-/73870?utm\\_source=twitter.com&utm\\_medium=social&utm\\_campaign=onlinePublished](https://bunshun.jp/articles/-/73870?utm_source=twitter.com&utm_medium=social&utm_campaign=onlinePublished)

・現行保険証の12月廃止「堅持」新デジタル相の平氏(10/1 時事通信)

[https://news.yahoo.co.jp/articles/bed635b99c0886ade69ef86f7adb5275c0d354cb?sourc=source=sns&dv=pc&mid=other&date=20241001&ctg=dom&bt=tw\\_up](https://news.yahoo.co.jp/articles/bed635b99c0886ade69ef86f7adb5275c0d354cb?sourc=source=sns&dv=pc&mid=other&date=20241001&ctg=dom&bt=tw_up)

・マイナ保険証“強制”の「法的欠陥」とは？ “1415人の医師ら”が国を訴えた「行政訴訟」が結審、11月判決へ(9/28 弁護士JPニュース)

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3bf067a7b2a099d98fff7b00aef7e27f29beda9d>

# 「介護保険制度の抜本改善」を総選挙の争点に押し上げよう 訪問介護の基本報酬引き下げ撤回を～請願・陳情 143 自治体で採 択、国への意見書 141 本へ～

中央社保協が4月から全国に呼びかけている「訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に求める」請願・陳情は10月11日現在、少なくとも22都道府県内の143自治体で採択され、国に対する意見書は141本となりました(別紙①)

## 長野社保協 請願陳情 64 市町村議会・2広域連合議会で採択

9月議会での意見書は少なくとも45本。長野県内では26議会で採択、6月とあわせて64市町村議会と2つの広域連合議会で採択されました(別紙②)新たに4県でも意見書が上がっています(愛知・名古屋市、静岡・掛川市、滋賀・東近江市、鳥取・倉吉市)

## 京都社保協 府内 171 訪問介護事業所のアンケート結果を記者会見

京都社保協は9月27日、府内171の訪問介護事業所のアンケート結果を記者会見。訪問介護の基本報酬引き下げ反対は94.2%に及び、今後の経営悪化90.1%、新規採用困難45%などの実態を告発。京都府に緊急支援金制度創設を求めたいと語っています(別紙③)

## 介護事業倒産、上半期最多 95 件 訪問介護が最多 報酬減額の影響も

東京商工リサーチは10月7日、4～9月の介護事業者の倒産(負債額1千万円以上)が95件と発表。燃料費などの高騰による経費増や人手不足が影響。業種別では訪問介護46件と最多。基本報酬が減額され「事業継続を諦めたケースがあった可能性がある」と分析。

## 日本医労連「緊急に訪問介護事業所の基本報酬を引き上げて」WEB 署名スタート

日本医労連は10月3日「訪問介護をなくすな！ 緊急で訪問介護事業所の基本報酬を引き上げて」WEB署名をスタート。わずか1週間で2万7157人もの賛同が広がっています。さらに広げていきましょう。

WEB 署名 URL <https://chng.it/4zGFcPkrSD>



## 2024 年ノーベル平和賞 歴史的快挙、未来への希望!! 日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)受賞

12日の記者会見で、田中熙巳(てるみ)代表委員は受賞理由について「核兵器を巡る情勢が厳しく、核兵器が使用される危険な状況にあるため、ノーベル委員会は米国に気兼ねしている状況ではないと判断し、日本被団協に平和賞を与えたのだと思う」また、「核廃絶は被爆者の課題ではない。人類の課題」「被爆者の訴えを世界の共通認識にし、運動を世界的なものにしないといけないと判断したのだろう」とも語っています。

また、田中代表は、石破首相が自民党総裁選挙中に米国の核を日本で運用する「各共有」や「非核三原則」の見直し議論の言及には「論外」と厳しく非難。「怒り心頭、考え方が間違っていると説得したい」など発言。

広島、長崎の被爆者の全国組織である被団協は、1956年の結成。国連の軍縮総会などで一貫して「被爆の実相」を世界に発信し「核廃絶」を訴え続けてきた。核兵器の使用と開発を非合法化する「核兵器禁止条約」の採択の際には、300万の署名を提出するなどして強力に後押ししてきました。

核兵器の廃絶、世界の平和への熱いメッセージが世界中を駆け巡ります！おめでとう!!



(写真)記者会見する被団協(左から)濱中、田中、和田、濱住の各氏=12日、東京都千代田区しんぶん赤旗より

# 2024年愛知自治体キャラバン

10月22日(火)～から県内全市町村を訪問

10月8日 団長事務局長会議、直前 事前学習会23地域2団体で開催



今年は45年目を迎えるキャラバン行動です。総選挙の日程と重なりますが、団体・地元のみなさんの協力でしっかり成功させましょう。

10月8日の団長事務局長会議では、事前冊子「陳情項目と参考資料」や「2024年自治体キャラバン実現項目(2023年10月以降)」

、さらに「自治体キャラバン要請から見える市町村の姿～先進を切ったの実施例・まだ実施していない例」などの資料について澤田社保協副議長から説明。さらに、「参加にあたっての運営上のお願い」について服部社保協理事(保険医協会)から、「2024年キャラバンコース表最新版 注意事項」について松井社保協事務局次長(自治労連)から説明し確認しました。

なお、27日投票の衆議院選挙が重なるため、当初予定の会場が変更されるケースが多く、直近の最新情報を「愛知社保協ホームページ→自治体キャラバン→日程」から確認してください。

事前学習会では、「キャラバンとは?」「キャラバン要請の経過」、「要望事項を実施した市町村割合の推移」を確認しています。その中で、要望事項が急速に実現しています「介護認定者等を障害者控除の対象とする自治体は98%に」「『子どもの医療費18歳年度末まで』入院は100%、通院は87%に」。「加齢性難聴者の補聴器助成も17自治体31%」「帯状疱疹ワクチン実施81%」等です。さらに前進を求めて取り組もうと意思統一がされています。冊子は、事前学習会で配布しています。

2024年自治体キャラバン「陳情書」は「介護保険」「国民健康保険」「生活保護」「福祉医療」「子育て支援」「障害者・児」「予防接種」「健診・検診」等多岐にわたります。とりわけ、新たに今回追加された陳情項目は、「1.安心できる介護保障(2)①訪問介護事業所への支援」、「2.国保の改善(3)保険料(税)滞納者への対応、(7)資格確認書の発行」、「5.子育て支援(4)①保育士配置基準、④育休退園」「9.地域の保健・医療 ④避難所・福祉避難所」などです。

10月8日から国民健康保険料引き下げにむけ、愛知県知事宛の「署名」も始まりました。みなさんのご協力をお願いします。

※ ご注意ください。今年から、自治体の集合時間が、すべて30分前になります。みなさまのご協力をお願いします。

ｺｰｽ	責任団体	日程	自治体名	訪問時間
第1	年金者組合	10/22 (火)	愛西市	10:00~11:00
			日進市	13:30~14:30
			東郷町	15:30~16:30
	年金者組合	10/23 (水)	津島市	13:30~14:30
			大治町	15:30~16:30
	年金者組合	10/24 (木)	蟹江町	10:30~11:30
			弥富市	13:30~14:30
			飛島村	15:30~16:30
	一宮社保協	10/25 (金)	一宮市	10:00~11:30
			稲沢市	13:30~15:00
あま市			16:00~17:00	
第2	自治労連	10/22 (火)	清須市	10:30~11:30
			北名古屋市	13:30~14:30
			岩倉市	15:30~16:30
	自治労連	10/23 (水)	江南市	10:30~11:30
			扶桑町	13:30~14:30
			犬山市	15:30~16:30
	自治労連	10/24 (木)	小牧市	10:00~11:00
			豊山町	13:00~14:00
			大口町	15:30~16:30
	自治労連	10/25 (金)	瀬戸市	10:00~11:30
尾張旭市			13:30~14:30	
春日井市			16:00~17:00	
第3	愛労連	10/22 (火)	東浦町	10:30~11:30
			大府市	13:30~14:30
			豊明市	15:30~16:30
	愛労連	10/23 (水)	東海市	13:00~14:30
			知多市	15:30~16:30
	愛労連	10/24 (木)	阿久比町	10:00~11:00
			半田市	13:00~14:00
	愛労連	10/25 (金)	美浜町	10:30~11:30
南知多町			13:30~14:30	
第4	新婦人	10/22 (火)	豊田市	10:00~11:30
			みよし市	13:30~14:30
			知立市	16:00~17:00
	社保協	10/23 (水)	碧南市	10:30~11:30
			高浜市	13:30~14:30
	社保協	10/24 (木)	安城市	10:30~11:30
			岡崎市	13:30~15:00
	社保協	10/25 (金)	西尾市	10:30~12:00
			幸田町	14:00~15:00
	第5	自治労連	10/22 (火)	新城市
豊川市				13:30~14:30
蒲郡市				16:00~17:00
自治労連		10/23 (水)	豊橋市	10:00~11:30
			田原市	14:00~15:00
自治労連		10/24 (木)	設楽町	10:00~11:00
			豊根村	13:30~14:30
社保協		10/29 (火)	東栄町	15:30~16:30
			武豊町	11:00~12:00
			長久手市	15:00~16:00
	刈谷市		10:00~11:00	
	名古屋市		14:00~16:00	
社保協	11/6 (水)	名古屋	14:00~16:00	
		愛知県	14:00~16:00	
社保協	10/28 (月)	東三河広域連合	14:00~15:30	